

NPO 法人ウッドデッキ

第1回「若手科学者のためのオーラル・ヒストリー」ワークショップ報告

1. はじめに

特定非営利活動法人ウッドデッキは、若手科学者が様々な世代の科学者や市民と語り合い、新たな未来に向けた方策を模索することを目的に、第1回「若手科学者のためのオーラル・ヒストリー」ワークショップを開催した。このオンラインイベントでは、産官学民の各セクターで活躍する経験豊富な講演者をお招きし、若手科学者に向けてキャリア形成のヒントとなる貴重な話を伺った。開催日時、開催場所、参加者の属性及び人数を以下に示した。

開催日時：2024年2月7日（水）15時～17時

開催場所：オンライン

参加者：合計12名（1名は途中までの参加）

学生を含む若手研究者7名、中堅研究者3名、講演者2名

2. ワークショップ概要

1) 趣旨説明:

安田仁奈（東京大学）がウッドデッキの使命と今回のワークショップの目的を説明した。

2) 講演：

2名の経験豊かな社会経験をもつ方に講演をしていただいた。講演者の氏名及び所属等は以下の通りである。

渡辺美代子氏（ウッドデッキ代表理事・日本大学常務理事）

秋山咲恵氏（ウッドデッキ代表監事・株式会社サキコーポレーション創業者）

渡辺氏からは「産官学の経験から見える未来への準備」というテーマで講演頂いた。渡辺氏は自身の履歴と共に、キャリアパスの多様性と、広がりのあるキャリアパスを描くための心がけについてお話しされた。また、博士号をとるメリットや研究職の魅力についても述べられた。

秋山氏からは「前例のないキャリアを構築するのに必要だったこと」というテーマで講演頂いた。秋山氏は就職し、その後起業してから現在に至るまでのキャリアパスをお話しされ、時代の変化に対応するための柔軟な思考がキャリア形成において如何に重要であるかを述べられた。

3) 対話セッション：

対話セッションでは、高瀬堅吉氏（中央大学教授）がファシリテーターを務め、参加者全員で講演内容の振り返りと意見交換を行った。意見交換は、参加者同士が現況を共有し、講演者に質問を寄せる形で進められた。全体を通じて、参加者はキャリア形成における様々なアプローチについて深く理解を深める機会を得た。

4) 閉会の挨拶：

鹿野豊氏（筑波大学教授）が閉会の挨拶を行い、ウッドデッキの活動としての本ワークショップの振り返りと展望を述べた。

3. 改善提案と今後に向けて

次回に開催する類似のワークショップでは、参加者全員の自己紹介の時間を設けることで、今回以上にオープンでフランクな議論を早い段階で促すことができるとよいの反省点が共有された。また、対話の時間を延長し、より多くの質問や意見交換ができるようにすることで、満足度や充実度の高まるとの意見もあがった。今後も、少人数制を維持しつつ、参加者のバックグラウンドや関心事に合わせたセッションを設計することで、個々のニーズに応えることが重要であると考えられる。また、企画の枠組みとしては、ウッドデッキの活動目的を達成するのに適したものであることが企画者のなかで共有された

4. 参加者からの感想など

以下に参加者から寄せられた感想を記載し、ワークショップ終了後の写真を掲載する。

- 多様なキャリアを経験した方々のお話を聞いて、すごい経歴を持つ人たちでも必ずしもビジョン通りに人生が進んでいるわけではないことが印象的だった。秋山先生の講演では時代の流れに乗ることが重要だという内容があったが、自分の研究も昨今のネイチャーポジティブの流れにより沿った内容にできると今後のキャリア形成にも活かせることができるのではないかと感じた。
- 熱量のある言葉やこれまでの経験談からのアドバイスが心に刺さり、こうした場への参加をこのタイミングでお声掛けいただいた有り難さなどを考えていたら、もう序盤から目頭が熱くなってきてしまって…。本当にありがとうございました。先程ワークショップを終えて時間も経ちませんが、しばらく消えていた前向きな気持ちが少し湧いてきた感覚があり、自分でも驚いています。
- 成功された（成功しているように見える）方は、要領よく、計画的に人生歩まれているんだろうなと思い、無計画で今になってどん詰まっている自分が情けなく思っていました。皆さん意外と臨機応変というか、計画ではなく時代の流れに乗って人生を歩まれていたことなど知り、なんだか肩の力が抜けました。
- 研究者の道に進んできた自分を肯定する気持ちがぐらつき始めていたのですが、今日のお話や参加者のみなさんとの対話で、研究者ってやっぱりいいな、仕事するっていい

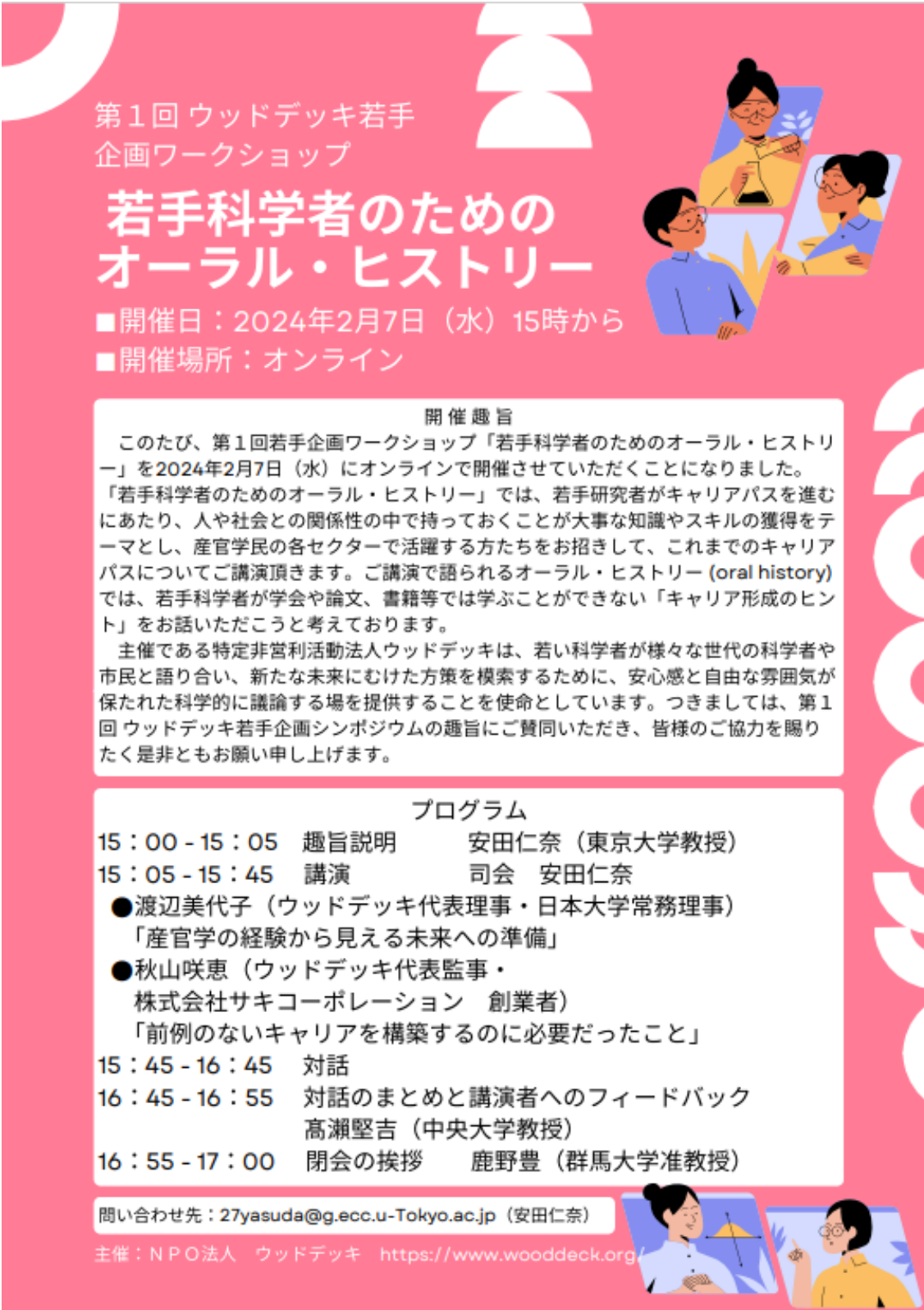
な、と気持ちが立て直せた感じです。肩の力を抜きつつやってみます。

- 少人数だったのが良かったです。多人数だと一方向の対談になってしまうので、もし2回目があるとしても少人数の方がうれしいです。
- 少人数だからフランクな話もすることができた。司会をしてくださる方がいたので、対談が流れ良く進められたので、全員の質問に対応してもらえたのがうれしかったです。
- 少人数だったので、自分の気になる部分を積極的に聞く時間をいただけた。
- 参加者も少数だったので、どこかで全員自己紹介する時間があれば、もっと質問しやすい空気になったかもしれない。
- ワークショップの長さは適切であった（3名から）
- もう少し長ければよかったなと思いました。ですが、一人1つは質問することのできる時間が取れたことはよかったなと感じました。



最後に撮った参加者のスクリーンショット

5. フライヤー



第1回 ウッドデッキ若手
企画ワークショップ

若手科学者のための オーラル・ヒストリー

■開催日：2024年2月7日（水）15時から
■開催場所：オンライン

開催趣旨

このたび、第1回若手企画ワークショップ「若手科学者のためのオーラル・ヒストリー」を2024年2月7日（水）にオンラインで開催させていただくことになりました。「若手科学者のためのオーラル・ヒストリー」では、若手研究者がキャリアパスを進むにあたり、人や社会との関係性の中で持っておくことが大事な知識やスキルの獲得をテーマとし、産官学民の各セクターで活躍する方たちをお招きして、これまでのキャリアパスについてご講演頂きます。ご講演で語られるオーラル・ヒストリー (oral history) では、若手科学者が学会や論文、書籍等では学ぶことができない「キャリア形成のヒント」をお話いただこうと考えております。

主催である特定非営利活動法人ウッドデッキは、若い科学者が様々な世代の科学者や市民と語り合い、新たな未来にむけた方策を模索するために、安心感と自由な雰囲気 が保たれた科学的に議論する場を提供することを使命としています。つきましては、第1回 ウッドデッキ若手企画シンポジウムの趣旨にご賛同いただき、皆様のご協力を賜りたく是非ともお願い申し上げます。

プログラム

15：00 - 15：05 趣旨説明 安田仁奈（東京大学教授）
15：05 - 15：45 講演 司会 安田仁奈
●渡辺美代子（ウッドデッキ代表理事・日本大学常務理事）
「産官学の経験から見える未来への準備」
●秋山咲恵（ウッドデッキ代表監事・株式会社サキコーポレーション 創業者）
「前例のないキャリアを構築するのに必要だったこと」
15：45 - 16：45 対話
16：45 - 16：55 対話のまとめと講演者へのフィードバック
高瀬堅吉（中央大学教授）
16：55 - 17：00 閉会の挨拶 鹿野豊（群馬大学准教授）

問い合わせ先：27yasuda@g.ecc.u-Tokyo.ac.jp（安田仁奈）

主催：NPO法人 ウッドデッキ <https://www.wooddeck.org/>